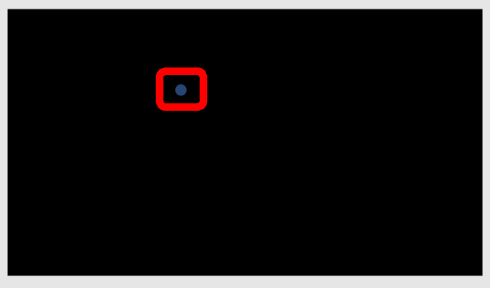

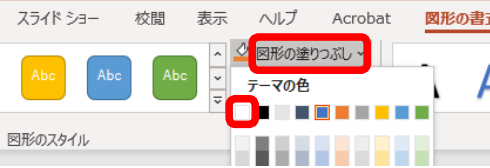
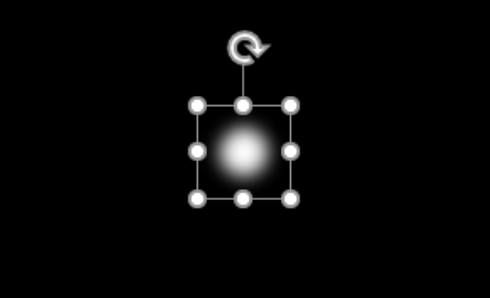
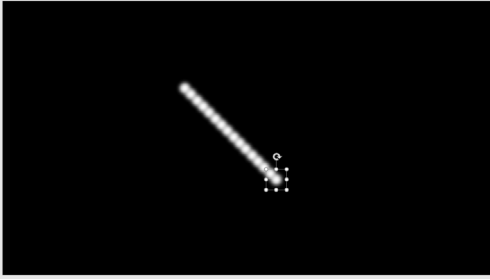

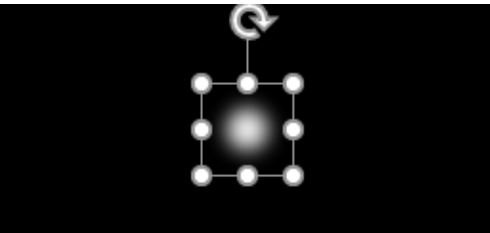
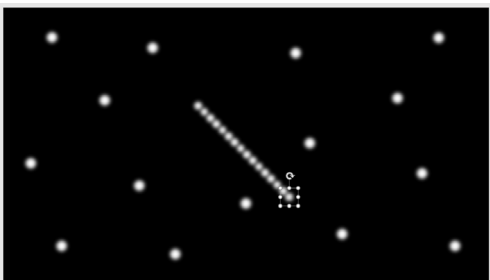

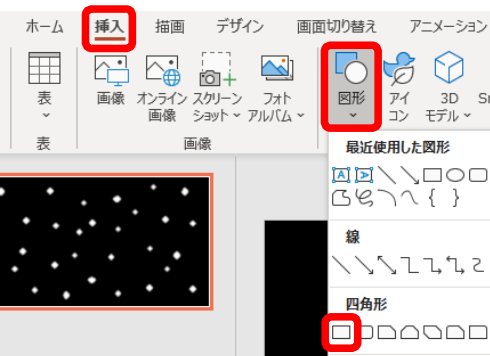


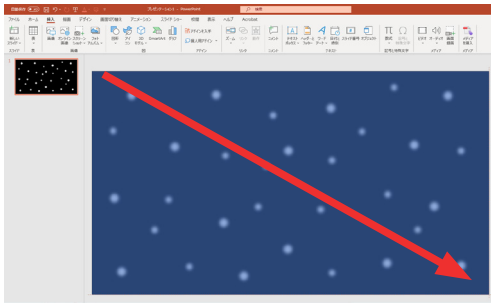
このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1910 で書かれています

<p>1</p>		<p>「レイアウト」→「白紙」を選択。</p>
<p>2</p>		<p>画面左にあるスライドのサムネイルを右クリックし、「背景の書式設定」をクリック。</p>
<p>3</p>		<p>画面右に「背景の書式設定」ウィンドウがあるので、「色」→「黒」をクリック。「×」で「背景の書式設定」ウィンドウを閉じる。</p>
<p>4</p>		<p>「挿入」→「図形」から「楕円」をクリック。</p>

<p>5</p>		<p>スライドのどこでもいいので、「Shift」キーを押しながら、マウスをクリックしながら、斜めに引っ張って小さな正円を描きます。</p> <p>※「Shift」キーを押しながらだと正円が描けます。押さないと楕円になります。</p>
<p>6</p>		<p>「図形の枠線」から「枠線なし」をクリック。</p>
<p>7</p>		<p>「図形の塗りつぶし」から「白」をクリック。</p>
<p>8</p>		<p>「図形の効果」→「ぼかし」→「10ポイント」をクリック。</p>
<p>9</p>		<p>雪のサイズを調整します。</p>

10		「Ctrl」 + 「D」 キーを 15 回ぐらい押して雪を複製します。
11		スライドに適当に配置します。
12		どの雪でもいいのでクリックし、「Shift」キーを押しながら、雪のサイズを少しだけ小さくします。
13		「Ctrl」 + 「D」 キーを 15 回ぐらい押して複製します。
14		適当に配置します。
15		「挿入」→「図形」→「正方形 / 長方形」をクリック。

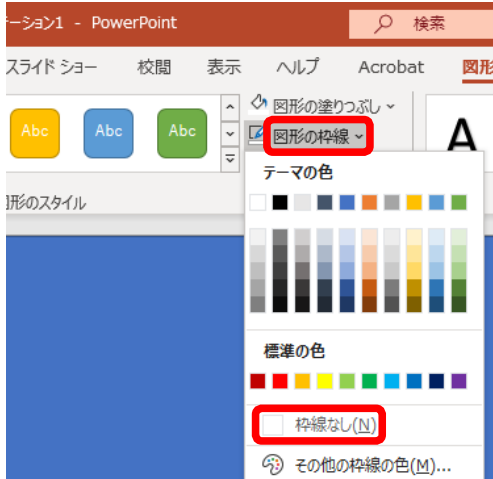
16



スライド画面いっぱいに四角形を描きます。

※ このとき、きっちりスライド画面と同じサイズになるように、描いた後、微調整しましょう。

17



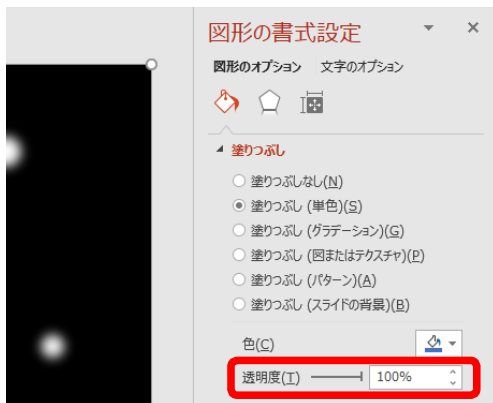
「図形の枠線」→「枠線なし」をクリック。

18



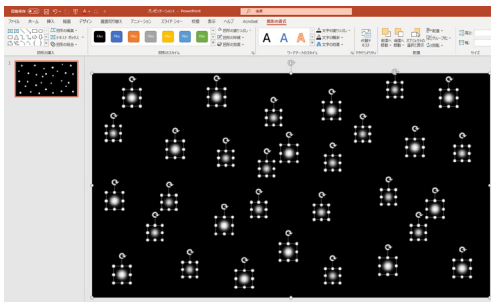
「図形のスタイル」の右隅にある
[] をクリックします。

19



画面右に「図形の書式設定」ウィンドウが開くので、「透明度」を「100%」にします。

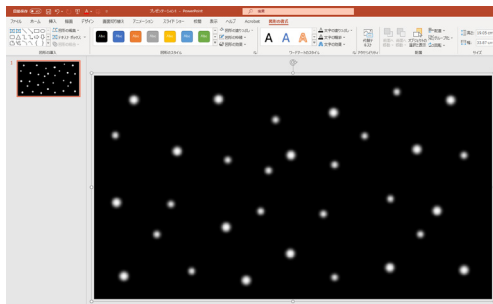
20



「Ctrl」+「A」キーを押します。

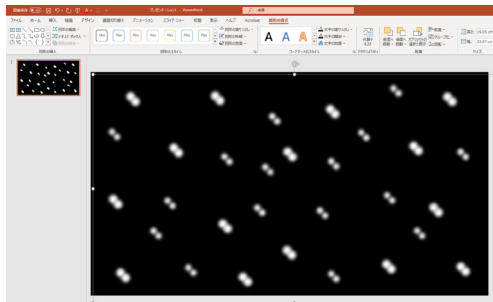
今描いた透明な四角形と雪の全てが選択されます。

21



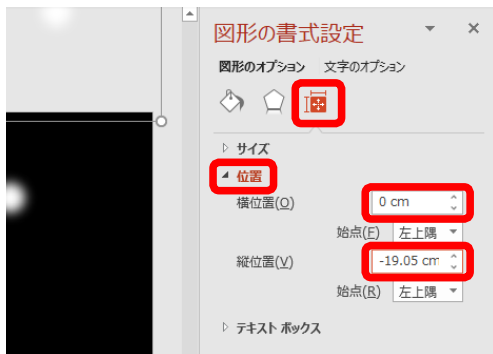
「Ctrl」 + 「G」 キーでグループ化します。


22



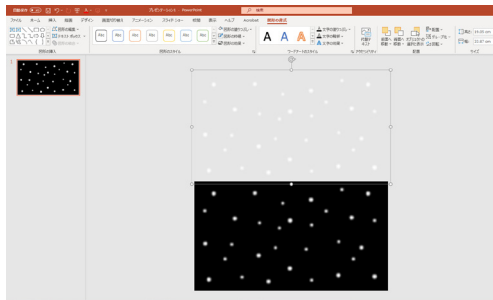
「Ctrl」 + 「D」 キーで複製します。

23



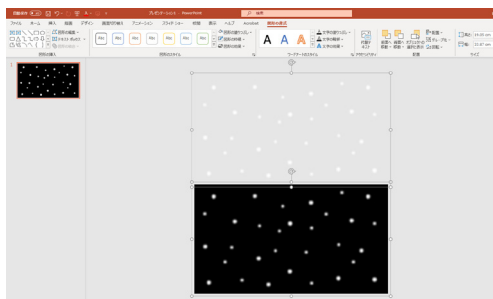
画面右の「図形の書式設定」ウィンドウの
 「サイズとプロパティ」アイコンをクリック。
 「位置」の
 「横位置」を「0」
 「縦位置」を「-19.05」に。

24



「Ctrl」キーを押しながら、マウスのホイールを下
 に回転させ、スライドを縮小させてみましょう。
 黒いスライドの上にスライドと同じサイズの複製
 された雪と四角形が配置されているはずですよ。

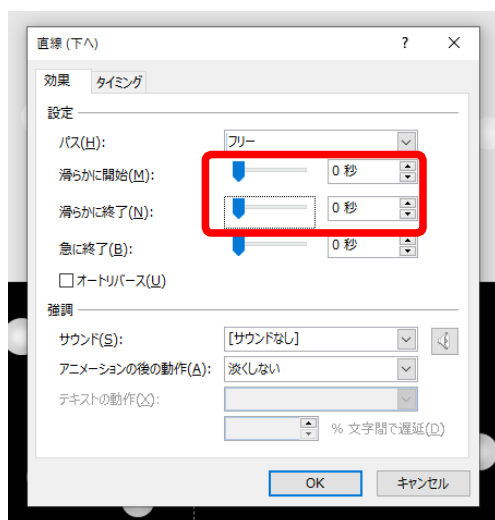
25



「Shift」キーを押しながら、黒いスライドの上をク
 リックします。
 両方の雪と四角形が選択されていればOKです。

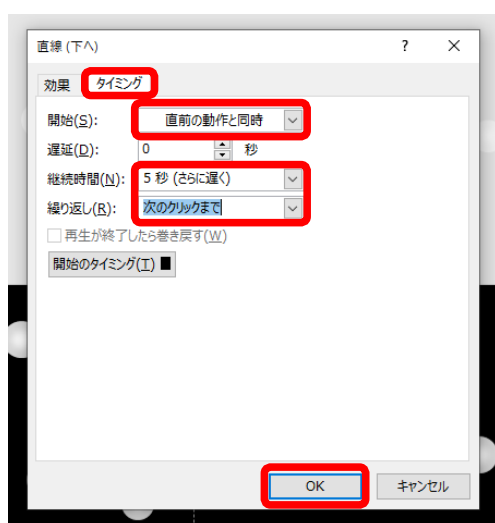
26		「Ctrl」 + 「G」 キーを押してグループ化。
27		「アニメーション」 → 「アニメーションの追加」 「アニメーションの軌跡」の「直線」をクリック。
28		アニメーションの終点  を「Shift」キーを押しながらクリックし、スライド画面のきっちり一番下まで引っ張ります。 雪がぴたっと重なる場所です。
29		「アニメーション ウィンドウ」をクリック。 すでに画面右に「アニメーション ウィンドウ」が開いている場合は必要ありません。
30		「アニメーション ウィンドウ」の項目をダブルクリック。

31



「滑らかに開始」と「滑らかに終了」を「0秒」に。

32



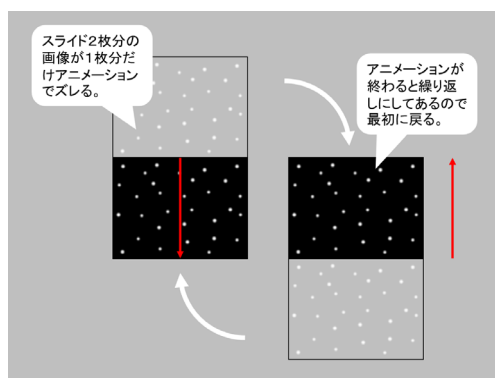
「タイミング」タブをクリックし、「開始」を「直前の動作と同時」「継続時間」を「5秒（さらに遅く）」「繰り返し」を「次のクリックまで」にして「OK」をクリック。

33



「F5」キーを押して、スライドショーを観てみましょう。
雪が無限に降ってきますか？

34



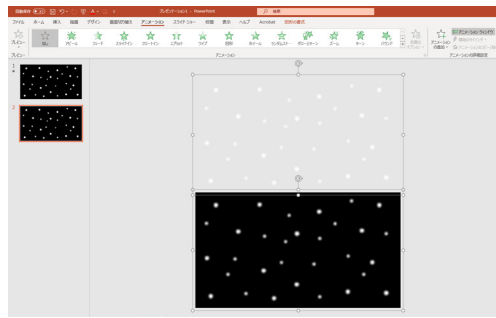
ここまでの仕組みのおさらいです。
きっちりスライド2枚分の雪画像を作りました。
まず、アニメーションの軌跡で下にスライド1枚分ズレます。
すると、アニメーションに繰り返しを設定しているので、始めに戻り、それがループされるので、見た目上、雪がずっと降っているように見えるわけです。

35



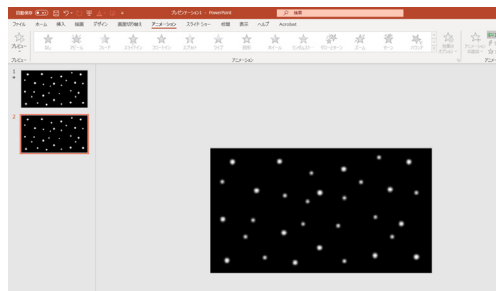
次に、奥行きを持たせます。
スライドのサムネイルをクリックし、
「Ctrl」 + 「D」 キーで複製。

36



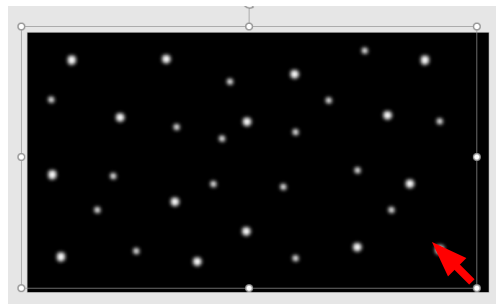
複製したスライドの雪画像をクリックし、
「Ctrl」 + 「Shift」 + 「G」 キーで
グループ化の解除。
雪画像が2つに分かれます。

37



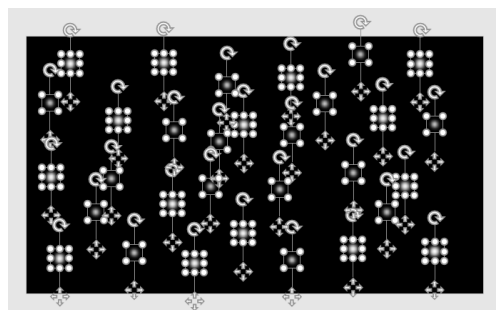
上の雪画像だけを選択し、
「Delete」 キーで削除。

38



残った雪画像をクリック。
右隅をドラッグして少しサイズを縮小します。

39

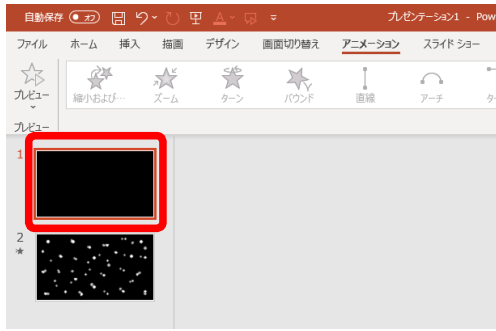


「Ctrl」 + 「Shift」 + 「G」 キーで
グループ化の解除。
「Shift」 キーを押しながら、透明の四角形をクリッ
クし、透明の四角形だけ選択を解除。

40		<p>「図形の書式設定」ウィンドウの「透明度」を「25%」に。 雪が少し薄くなります。</p>
41		<p>透明の四角形をクリックし、スライドのサイズと きっちり同じになるように拡大。</p>
42		<p>透明の四角形を右クリックし、 「最背面へ移動」。</p>
43		<p>縮小したことによって左に寄った雪の画像を画面 全体に適当に配置し直します。</p>
44		<p>20～32 までの工程と同じことをこの縮小させ薄 くした雪画像にも行ってください。</p>

45		「継続時間」だけ「07.00」に変えます。
46		1枚目のスライドのサムネイルをクリック。
47		1枚目のスライドの雪画像をクリックし、「Ctrl」+「X」で切り取り。
48		2枚目のスライドのサムネイルをクリック。
49		「Ctrl」+「V」キーで貼り付け。 少しズレるので、 貼り付けた雪画像がスライドの真ん中に来て、 下がぴったり合うように移動。

50



1枚目のスライドのサムネイルをクリックし、「Delete」キーで削除。

51



「F5」キーでスライドショーを観てみましょう。奥の雪はゆっくり、手前の雪ははやく降り続ければ完成です！